

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆世界株「危機前」水準に 日経平均は最高値、戦闘終結の期待先行

・世界の株式相場が2月末のイラン攻撃より前の水準に戻った。米国ではナスダック総合株価指数が最高値をつけ、日経平均株価も最高値を更新。停戦交渉の先行きが見えないにもかかわらず、買いを急ぐ姿勢がみられる。16日の東京株式市場で日経平均は前日比1384円(2%)高の5万9518円で取引を終え、2月27日の最高値(5万8850円)を上回った。

◆冷凍食品、25年消費量が過去最多 大容量袋やワンプレート好調

・日本冷凍食品協会が発表した2025年の冷食の消費量は1968年の調査開始以来初めて300万トンを超えた。家庭用は3年ぶりに前年を上回った。25年の消費量は24年比約4%増の302万トンと、2年連続で前年を上回った。消費額も約4%増の1兆3613億円と、過去最高を更新。家庭用の冷食は約3%増の76万トンだった。

◆42年ぶり税制改正で社食特需 非課税2倍、専用クレカでランチ補助も

・社員食堂など企業による食事代補助が「第3の賃上げ」として重視され始めた。政府の税制改正で4月から補助の非課税枠が2倍超の月7500円に。実質賃金が伸び悩む中、税負担を抑えつつ家計を支援できる利点がある。企業の食事補助は従業員が費用の半分以上を負担するといった要件を満たせば給与とみなされず、所得税が非課税となる。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆TOTO、ユニットバスの受注再開へ 政府の目詰まり解消方針受け

・TOTOは20日からユニットバスの受注を再開すると発表。ホルムズ海峡の事実上の封鎖でナフサ由来の溶剤が調達難となり受注を止めていた。政府が部材流通の目詰まりを解消する方針を示したことを受け再開。段階的に新規注文の受け付けを始める。再開にあたっては納期を通常より遅らせることも視野にいれる。

◆米エリオット、ダイキンに総額1兆円の自社株買い要求 利益率改善も

・ダイキン株への投資が判明したアクティビスト(物言う株主)の米エリオット・インベストメント・マネジメントが、ダイキンに対し株主還元の強化策として今後数年で1兆円程度の自社株買いを求めていることが関係者への取材でわかった。関係者によるとエリオットは自社株買いと合わせ利益率の改善と非中核事業の見直しも求めているという。

◆住宅購入検討者の5割「今が買い時」 20年以降最多、リクルート調べ

・リクルートが発表した『住宅購入・建築検討者』調査によると、住宅の購入や建築を検討している人の50%が、今が買い時だと思っていると回答。2020年以降で最も高くなった。買い時だと思った理由について「これからは、住宅価格が上昇しそう」が最も高く50%。「いまは、住宅ローン金利が安い」、「いまは、住宅価格がお手頃」などが続いた。

《 注目商品 》

■山善、水冷服「DIRECT COOL」シリーズから「DIRECT COOL ProPLUS水路式」

・水冷服「DIRECT COOL」シリーズの新モデル「DIRECT COOL ProPLUS(ダイレクトクールプロプラス)水路式」を開発。従来のチューブ式から背中を面で冷却する「水路式構造」へと進化し、より効率的かつ快適な冷却性能を実現。2026年5月中旬から順次発売。



■シャープ、プラズマクラスター空気清浄機「Purefit」<FU-U40>

・さまざまなシーンに“フィット”する「運転音」「サイズ」「空気清浄性能」を兼ね備えたプラズマクラスター空気清浄機の新シリーズ「Purefit(ピュアフィット)」<FU-U40>を発売。左右両側から空気を取り入れる「Wフィルター構造」を採用。



■トーヨーキッチン、マットメタリック+立体表情の新デザイン

・システムキッチン「BAY(ベイ)」「BAY CUBE(ベイキューブ)」の新デザインとして「S チタニウム2」をラインアップ。マットメタリックな質感と、高圧・高熱処理された特殊樹脂含浸素材「HPL(ハイプレッシャーラミネート)」による立体的なテクスチャーが繊細な陰影を表現。

